



©沼津市

沼津港大型展望水門 びゅうお 観る

360度の大パノラマを楽しめる沼津港のランドマーク。東海地震の津波対策の一環として平成16年に完成した大型展望水門です。地上30mの展望施設からは、富士山や箱根連山、沼津アルプス、大瀬崎をくっきりと見ることができます。ライトアップされた夜の水門はフォトジェニックスポットです。

アクセス JR「沼津」駅から 約15分 → 「沼津港」から 約5分



©沼津港深海水族館

沼津港深海水族館 シーラカンス・ミュージアム 観る

日本一深い駿河湾を目の前に、水深200m以深で暮らす深海生物に特化した世界初の水族館。“生きる化石”シーラカンスの展示をはじめ、世界最大のタカアシガニ、ダイオウグソクムシやヒカリキンメダイなど、常時100種以上の深海生物の生態を間近で観察できます。深海の魅力にワクワク！

アクセス JR「沼津」駅から 約15分 → 「沼津港」



伊豆・三津シーパラダイス 観る

自然の入り江を利用した施設内にはイルカやアシカ、ペンギンなどがのびのび暮らしています。「イルカの世界ショー」では豪快なジャンプを、「ショースタジアム」ではアシカ・イルカなどがユーモラスで息の合ったパフォーマンスを披露します。駿河湾と伊豆の河川のいきもの展示も魅力です。

アクセス JR「沼津」駅から 約40分 → 「伊豆三津シーパラダイス」
伊豆箱根鉄道「伊豆長岡」駅から 約25分 → 「伊豆三津シーパラダイス」

潮風がこころよい港町。街なのに海も川も山もあります。



海の恵みは、旅の歓びに。アジ、タイ、タカアシガニ、深海魚、干物に海鮮丼。駿河湾の恵み、富士山は、皇室や文人に愛されてきました。

[もっと詳しく](#)



皇室の愛した海、そして富士の絶景



月光天文台 観る

富士山を望む山あいの天文台。直径11mのドームを持つプラネタリウム館は番組プログラムも多彩。きらめく星座の物語や壮大な宇宙のロマンを体感できます。本館では定期的な観望会をはじめ、展示室「ジオワールド」「コスモワールド」で天文や地球誕生の歴史を楽しめます。

アクセス JR「函南」駅から 約7分
伊豆縦貫道「玉沢」ICから 約10分



函南西瓜 特産 土産

平井・大竹地区などの中山間部で生産されているスイカは、温暖な気候と昼夜の温度差、また火山灰の多い土壌などの要因で栽培に適しています。出荷時には、糖度検査と打検により品質を厳しくチェック。ツルを残した“〇平(まるひら)”ブランドの西瓜は、広がる甘さと食べ応えのあるシャリ感で人気です。

花ごよみ



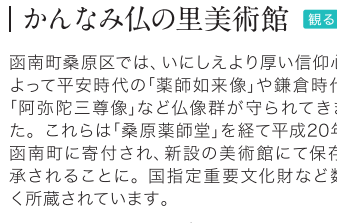
● 柿沢川のかなみの桜
2月下旬～3月中旬



● 日守山の桜
4月上旬頃



● 十国峠の紫陽花
6月中旬～7月初旬頃



アクセス JR「函南」駅から 約5分
伊豆縦貫道「大場・函南」ICから 約15分



酪農王国オラッチェ 体験 土産

「訪れた人が動物、自然とふれあうことで、心身ともにリフレッシュして欲しい」そんな願いで開園した自然派テーマパークです。牛やうさぎなど動物へのエサやりをはじめ、乳しぼりやバターづくり、季節野菜の収穫も体験できます。王国ショップでは地ビールをはじめ各工場の製品が買い求められます。

アクセス JR「函南」駅から 約15分
伊豆縦貫道「大場・函南」ICから 約20分

伊豆の玄関を開けると、自然が微笑んでくれました。



伊豆半島の玄関口として道の駅・川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」を構え、観光客を出迎えています。仏の里美術館や酪農王国オラッチェなど歴史と四季折々の自然を楽しむことができます。

[もっと詳しく](#)



山麓に歓声あり 山頂に感動あり



● 香貫山の桜
3月下旬～4月上旬



● 金冠山のまめ桜
4月中旬～5月上旬



● 沼津御用邸記念公園の紫陽花
6月



● 菊華展(沼津御用邸記念公園)
11月初旬～中旬



● 沼津御用邸記念公園の梅
1月中旬～3月上旬



佐野美術館 観る

趣向を凝らした展覧会は絵本・工芸・絵画など幅広く定評があります。収蔵品は創立者の故・佐野隆一氏の収蔵品を基礎としていて、日本・東洋の美術品を約2500件収蔵。特に日本刀は名品が多く、一部を常設展示室で鑑賞できます。富士の湧水を取り入れた回遊式庭園の四季の花々が見事です。

アクセス JR「三島」駅から 約12分 → 「佐野美術館」
伊豆箱根鉄道「三島田町」駅から 約3分



うなぎ 特産

三島グルメの代表格。美味しさの秘密は富士山の湧水にあります。市内のうなぎ店では、活きのいうなぎをこの清らかな水に数日間さらして生臭さや泥臭さを落とし、余分な脂を抜きます。身が引き締まったうなぎを蒸し、焼き上げると仕上がりはふっくら香ばしく…水の都ならではの御馳走です。

花ごよみ



● 三嶋大社の桜
4月



● 三島梅花藻
5月～9月



● 楽寿園菊まつり
10月下旬～11月下旬



源兵衛川 散策

水の都・三島のシンボル。楽寿園の小浜池を源流とする約1.5kmの清流です。川の中に木や石でできた散策路があるので、せせらぎの音に寄り添いながらゆっくり歩けます。木立に囲まれた川の道は夏でも涼しく、子供たちの歓声が響きます。5月から6月上旬にかけてゲンジボタルが川面を舞います。

アクセス JR「三島」駅から 約5分



小浜池(満水時)



楽寿園 観る 散策

国の天然記念物指定の自然豊かな公園。その歴史は古く、明治23年に小松宮彰仁親王の別邸として建てられました。富士山から湧水が湧く小浜池は、その状況で水位が大きく変化します。園内は広く、約160種の樹木には野鳥の姿も。どうぶつ広場やのりもの広場もあり、老若男女が楽しめます。

アクセス JR「三島」駅から 約3分

せせらぎと緑あふれる



三嶋大社の門前町、東海道の宿場町として古くから栄えた三島。富士山からの雪解け水が街なかのこんこんと湧き上がる「水の都」です。

[もっと詳しく](#)



せせらぎと緑あふれる



葦山反射炉 観る

海防の必要に迫られた幕末日本は、時の葦山代官江川英龍(坦庵)の進言により、大砲をつくるための反射炉の築造を決定しました。鉄を溶かすための高熱を生み出す反射炉は、3年半の年月をかけ1857年に完成しました。反射炉を含む「明治日本の産業革命遺産」は世界文化遺産に登録されています。

アクセス 伊豆箱根鉄道「伊豆長岡」駅から 約25分
※伊豆長岡駅から周遊バス「歴バスのるへら」約10分、運行日は事前に要確認



江川邸 観る

葦山の世襲代官、江川家の邸宅。28代当主英長は徳川家康に仕え、代官としてこの地を統治するようになりました。大屋根を構える豪壮な母屋は、国指定の重要文化財です。36代当主の江川英龍(坦庵)は反射炉や品川台場の建設、江川塾の開塾など多くの実績を残し、領民からも慕われました。

アクセス 伊豆箱根鉄道「葦山」駅から 約10分 → 「江川邸」
「葦山」駅から 約20分

いちご狩り 体験

伊豆の国の春を真っ赤に彩るいちご。広大な栽培面積を誇り、静岡県を代表する生産地です。12月中旬～5月初旬のシーズンでは江間地区、伊豆長岡地区のいちご狩りセンターや各いちご狩り施設で旬の味覚が楽しめます。栽培品種は主に「紅ほっぺ」「草姫」「きらび香」の3種類。食べ比べもおすすめです。

アクセス 市内江間地区、伊豆長岡地区

花ごよみ



● 江間川沿いの桜並木の桜
2月下旬～4月中旬



● 大仁瑞泉郷の芝桜
4月中旬～5月上旬



● 成福寺の蓮
6月中旬～8月初旬



● 北條寺の白い彼岸花
9月下旬～10月上旬



● 伊豆パノラマパークの紅葉
11月中旬～12月初旬



● 大仁神社の梅
2月中旬～下旬

いずのくに。いやしのくに。時の流れに癒されて。



葛城山や狩野川の豊かな自然、古くからの温泉場、近代化を支えた世界遺産に源氏、北条氏ゆかりの史跡など、想いを馳せたい別天地です。

[もっと詳しく](#)



かがやく自然と歴史

